

別記様式第1（第5条第1項関係）

受付番号:

倫理審査申請書

令和8年4月1日

国立大学法人お茶の水女子大学  
人文社会科学研究の倫理審査委員会委員長 殿

研究責任者  
所属 大学院人間文化創成科学研究科  
職 〇〇専攻 博士後期課程3年  
氏名 〇〇 〇〇〇

コメントの追加 [m1]: 審査の公正性を確保するため、審査時には申請者の氏名や所属、その他の固有名詞を伏せて対応します。該当する箇所には、黄色マーカー等で着色するなどしてください。この対応は、提出書類のすべてにわたって徹底して行ってください。

国立大学法人お茶の水女子大学人文社会科学研究の倫理規則第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

1. 課題名 女性の妊娠経験に関する聞き取り調査研究
2. 共同研究者 大学院人間文化創成科学研究科〇〇専攻 博士後期課程1年 〇〇〇〇〇 (お茶の水女子大学基幹研究院〇〇科学系 教授 〇〇〇〇〇) (学外の研究者と共同で実施する課題のみ) 他機関における倫理審査の状況 審査機関: 審査結果: <input type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 審査中 <input type="checkbox"/> その他 ( )
3. 研究の種類 (複数選択可) <input type="checkbox"/> アンケート・質問紙調査 ( <input type="checkbox"/> 紙媒体 <input type="checkbox"/> Web 調査) <input checked="" type="checkbox"/> インタビュー調査 <input type="checkbox"/> 実験、介入、評価等により研究対象者の情報等を取得 (対象者の検査、測定、調査の結果等) <input type="checkbox"/> 研究対象に参与する参与観察、エスノグラフィー、アクションリサーチ等 <input type="checkbox"/> その他 ( )
4. 研究期間 (調査期間) 開始日: <input checked="" type="checkbox"/> 委員会承認日 <input type="checkbox"/> 年 月 日 終了日: 2027年 3月31日
5. 研究資金 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 即時オープンアクセスの対象である競争的資金 (科学研究費助成事業等) <input type="checkbox"/> 上記以外の競争的資金

コメントの追加 [m2]: 申請者が大学院生等で、かつ指導教員が共同研究者になっていない場合は、指導教員名をカッコ書きで書いてください。

コメントの追加 [m3]: 学外の研究者と共同で実施する課題では、共同研究者が所属する他研究機関における倫理審査の実施状況を記載してください。共同研究者が所属する他研究機関において倫理審査がすでに終了している場合、原則として、その審査を以って本委員会の審査に代えることが可能です。

コメントの追加 [m4]: 研究 (手法) の種類を記載してください。ここに選択肢がない種類の研究において倫理審査の有無について疑問がある場合には、あらかじめ研究・産学連携課に問い合わせてください。

<input type="checkbox"/> 民間資金（大学経理処理対象） <input checked="" type="checkbox"/> 私費（自己資金） <input type="checkbox"/> その他（ ）
<b>6. 研究結果の公表予定</b> （即時オープンアクセスの対象である競争的資金を使用する研究の場合には、研究論文及びの根拠データの公表について時期と方法をできる限り具体的に明記すること。） ○○学会での発表、○○雑誌への論文投稿
<b>7. 研究の意義・目的</b> 日本では1970年代以降に妊娠・出産の医療管理が進んできた。妊娠を確認し、胎児の画像を超音波写真で見て、胎児の染色体や遺伝子の検査も行なうことができる。それによって女性にとって妊娠経験はいかなるものなのだろうか。この研究では女性の主観に焦点をあて、医療化された時代の妊娠経験を描きだす。日本の女性の妊娠経験については、質問紙調査はいくつか実施されている（○○2000、○○2002など）が、医療化された妊娠経験を女性自身がいかに考え、評価しているかに関する大規模な資料は非常に少ないため、貴重な研究資料となる。
<b>8. 研究内容等の概要</b> <b>(1) 調査・実験の対象者</b> （人数、属性、選定方法、募集・依頼方法、謝礼（謝金）支払いの有無とその資金源などを明記すること。） 東京都内在住の2年以内に妊娠経験のある18歳以上の女性100名を調査対象者とす。年齢は問わないがほとんどが20代から30代であると予想する。調査対象者の募集は都内全域の保育園や産婦人科・小児科病院で協力依頼のポスター100部とチラシ約5000部を配布し、協力の意思のある方に連絡先を記入したメールを送ってもらう（添付資料1）。 調査協力に対する謝礼として○○円分の図書カードを進呈する。謝礼の費用は私費により賄う。  <b>(2) 収集する情報やデータと収集方法・手順</b> （データ等の項目、特に取得する個人情報の詳細、収集方法の詳細、記録内容及び記録方法、実施場所、実施担当者、所要時間などを明記すること。） 調査協力のメールを受け取ってから、調査対象者とインタビュー日時・場所の連絡をとる。インタビューの所要時間は約1時間から2時間である。インタビューは、研究代表者及び共同研究者が実施する。調査場所は基本的に水女子大学の会議室を借りて行うが、調査対象者の要望でその自宅等で行うこともある。また、調査対象者の要望でWeb会議ツールを用いてオンラインで実施することもある。質問内容は質問票（添付資料3）にあるとおり。回答内容には、個人名、医療機関名、地域名等のプライバシー情報が含まれることが想定される。インタビューは、調査協力者の同意のもと録音する。

**コメントの追加 [m5]:** 科研費及びその他の競争的資金、民間資金への申請を検討中又は申請中の場合には、「その他」に記載してください。

**コメントの追加 [m6]:** 即時オープンアクセスの対象である競争的資金を使用している場合には、「本研究は競争的資金を使用して実施するため、研究成果は○○雑誌（電子ジャーナル）へ投稿し、受理後ただちにオープンアクセスで公開する。また、根拠データとして、個人情報を含まない範囲で匿名化処理を行った分析用データを、GakuNin RDMなどのデータリポジトリで公開する。」のように記載してください。

**コメントの追加 [m7]:** 目的を明確に、かつ簡潔に、専門外のひとにも理解できるように書いてください。

**コメントの追加 [m8]:** 先行研究などを明示して調査の学術的意義を書いてください。

**コメントの追加 [m9]:** この欄に記載した内容と、添付資料に書かれた内容に齟齬がないか、提出前によく確認してください。

**コメントの追加 [m10]:** 「調査対象者」「参加者」「協力者」など同一の対象を示す場合、申請書内で呼び方を統一してください。

## 9. 研究における倫理的配慮

(1) 研究対象者の個人の権利擁護の方法（個人識別の可否などのデータの特性、匿名化の方法、保管方法と保管場所、保管期間（原則 10 年）及び廃棄方法、データの利用者などを明記すること。謝礼の支払いにかかわり個人情報を収集する場合には、その取扱いについても明記すること。）

調査対象者のプライバシー情報に関しては、データ分析の際には個人名や医療機関名、地域名等を仮名にする匿名化を行ってから扱う。文字データに変換後の録音データは速やかに廃棄する。分析中や執筆中のデータは、パスワードをかけた USB メモリに保存し、大学研究室や申請者の自宅で作業を行う。研究終了後、匿名化した文字データは当該研究成果の発表時点から 10 年間、パスワードをかけた USB メモリに保存し、申請者の研究室の鍵のかかるロッカーに保管する。保管期間終了後は、復元不可能な形で廃棄する。

謝礼に関して個人情報を収集することはない。ただし、オンラインで実施するインタビューにおいては、図書カードの送付先住所等の個人情報を収集する。収集した個人情報は、7-(1)にある通り、匿名化した文字データと同様に保管する。研究成果の公表後 5 年間保管したのち、適切に廃棄する。

(2) 研究対象者からインフォームド・コンセントを受ける方法（説明方法、説明者、同意を得る手順と方法、電磁的方法の採用の有無などを明記すること。即時オープンアクセスの対象である競争的資金を使用する研究の場合には、研究論文及び根拠データをインターネット上で公開することを説明すること。同意書を取得する場合には、その保管場所と保管期間（原則 5 年間）を明記すること。研究対象者から同意を得ることができない研究の場合にはその理由と、それによって生じる可能性のあるリスクや倫理的問題を回避するための対応方法を明記すること。）

調査の説明はポスター及びチラシに記載する（添付資料 1）。インタビューに際して、改めて研究目的、調査時間、方法、録音の承諾、データの匿名での公表、公表方法、同意撤回方法、フィードバックなどについて記載した「インタビュー協力同意書」（添付資料 2）を渡して文書と口頭にて説明の上、同意書へ署名をもらい、申請者と調査対象者が一部ずつ保管する。同意書は、(1)の匿名化した文字データと同様に保管し、研究成果の公表後 5 年間を経てから、適切に廃棄する。

(3) この研究によって生ずる個人の不利益及び社会的貢献の予測（比較衡量に基づく妥当性を明確にするため、個人の不利益と社会的貢献を区別して整理し、分かりやすく記述すること。）

### ①本研究によって生ずる個人の不利益

本調査で予想されるリスクは、調査対象者のプライバシー情報の漏洩と、妊娠という個人的な経験について話すこと、たとえば、流産や中絶の経験などを話すこと、匿名であってもそれを公表することによって調査対象者が不快になることも生じ得ることである。調査対象者のプライバシー情報の漏洩を防ぐことに注意を払い、調査対象者が不快になった場合にはインタビューの最中や、インタビュー終了後 3 ヶ月以内までに研究協力を辞退することが可能であり、辞退しても不利益を被らないことをよく説明し明記することで、予想される問題を最小限にする。

### ②本研究によって生ずる社会的貢献

学術的な意義だけではなく、この研究成果は産婦人科医療における患者・利用者の権利を擁護する際の参考資料ともなりうる。また、〇〇による〇〇性の違いに関する

**コメントの追加 [m11]:** 「同意書」「承諾書」など、内容として同じ書類を指している場合には、原則として、表記を「同意書」に統一してください。

**コメントの追加 [m12]:** 詳細は同意書の記入例を参照してください。

知見は、〇〇病などの生活習慣病を社会的重要な課題として抱える現代の日本人にとって有用であると言える。本研究により、従来の〇〇法よりも簡易な方法で〇〇できる〇〇が解明されれば、〇〇普及の推進及び社会全体の健康増進へ大きく寄与するものと考えられる。

(4) その他  
特になし

10. 添付資料 (添付する資料については、資料番号及び資料名称を記載すること。外国語の資料が含まれる場合には、日本語訳もあわせて添付すること。調査等を他の組織・団体に (一部含めて) 委託する場合には、受託者の倫理適合を示す資料を添付すること。なお、各添付資料の上部には資料番号を明記すること。)

添付資料 1: 調査対象者 (インタビュー協力者) を募るポスター及びチラシ

添付資料 2: 調査協力同意書

添付資料 3: 質問票

**コメントの追加 [m13]:** 添付資料の番号と、本欄に記載した番号が一致していることを確認してください。

添付資料 2

添付資料 2

調査協力依頼書及び同意書

本研究は、日本に住んでいる華人主婦のお話を伺い、中国—日本の移住によるジェンダー観の変容及び生活諸方面の実態を明らかにすることを目的とします。この調査では、主婦になる前のご経歴や、いま主婦であるご自身の考え方などについてお話しいただきたいと考えております。

1. インタビューには1時間から2時間程度の時間がかかります。インタビューの場所は、お茶の水女子大学内の会議室などの他に、ご都合に合わせて調整します。調査協力に対する謝礼として〇〇円分の図書カードを進呈します。

2. 個人的な体験についてもお聞きするので、もし質問に答えたくない場合には、お答えにならなくても結構です。ご協力は任意なので、インタビューを中断したい場合にはおっしゃってください。いつでも中断いたします。調査終了後に、辞退される場合は調査終了後〇か月以内にご連絡ください。また、調査の辞退や中断により、あなたに不利益が生じることはありません。

3. 誤りがないよう、インタビューを録音させていただきます。この記録は慎重に扱い、第三者が聞くことはありません。もしご希望があれば、文字化したインタビューデータの内容は後日チェックしていただき、データの使用が可能かどうかをご確認いただけます。使用されたくない箇所は論文や研究発表などで使用いたしません。

4. インタビューを録音したデータは、研究目的以外には使用いたしません。インタビューを通じてご提供いただいた情報に関して、調査者以外の第三者がインタビューを録音した音声データ及びこれを起こした文字化したデータに触れることはございません。また、インタビュー内容から個人の情報が第三者に知られることのないように個人名や組織名は匿名にいたします。

5. 本研究の結果は、お茶の水女子大学大学院博士前期課程△△専攻〇〇コース修士論文として発表いたします。完成した修士論文は、学内で行う修士論文発表会で発表する他、今後、同様の研究を行う学生や研究者に閲覧される可能性があります。そのため、本研究の成果は、今後の学術研究の参考資料にもなりえます。また、博士論文や他の学術論文、学会発表など修士論文以外の研究発表でもデータを使用いたします。修士論文の調査結果に関しては〇〇年〇月までに以下の連絡先にご連絡いただければ、論文の完成概要をお送りいたします。

私は上記の条件で、インタビュー調査に協力することに同意します。

録音：  同意する  しない

令和 年 月 日

お名前：

調査者：お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科博士前期課程△△専攻〇〇コース

名前： 〇〇 〇〇 連絡先： 〇〇〇〇 @ ocha.ac.jp

コメントの追加 [A1]: 添付資料には、ヘッダーに資料番号をつけてください。

コメントの追加 [A2]: 調査の目的

コメントの追加 [A3]: 何を聞くか簡潔に

コメントの追加 [A4]: 調査時間、場所、謝礼の有無

コメントの追加 [A5]: 調査協力は自由

コメントの追加 [A6]: 中断、撤回の権利

コメントの追加 [A7]: 個人情報をどう守るか

コメントの追加 [A8]: どのように公表するのか

コメントの追加 [A9]: フィードバックはどのようにするか。フィードバックができない場合は理由を申請書に書くこと。

コメントの追加 [A10]: 録音などをする場合はそれぞれについて同意を。同意しない場合の対処も申請書に書くこと。

コメントの追加 [A11]: 協力者の署名

コメントの追加 [A12]: 調査者署名